

【令和8年度 入学式 校長式辞】

式 辞

本校の桜が、今年も見事に満開の花を咲かせました。春の光に包まれて咲き誇るその姿は、本日この日を迎えた皆さんの初々しさと重なって見えます。

本日ここに、同窓会長〇〇〇〇さま、PTA 役員〇〇〇〇さまをはじめとするご来賓の皆様、並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、令和八年度 群馬県立藤岡工業高等学校入学式を挙行できますことを、本校教職員を代表して、心より御礼申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました四十七名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。また、これまでお子様を支えてこられた保護者の皆様にも、心よりお祝い申し上げます。

皆さんは本日より、本校の生徒として新たな一步を踏み出します。この三年間は、皆さんの人生の基礎を形づくる、かけがえのない時間です。ここで出会う仲間や先生方とのつながりは、将来にわたって大きな支えとなることでしょう。どうか、人との出会いを大切にしてください。

さて、これからの高校生活で、ぜひ身につけてほしい力があります。それは、「自ら考え、判断し、行動する力」です。

社会は今、これまでにないスピードで変化しています。正解が一つではなく、答えのない課題に向き合う場面も増えています。だからこそ必要なのは、「答えのない課題に対し、自ら問いを立て、考え続ける力」です。

学校生活において、皆さん一人ひとりが「主人公」です。「誰かがやるだろう」ではなく、「自分がやる」という当事者意識を持って行動してください。「自分にできることは何か」と問い続けること。その積み重ねが、皆さん自身の成長につながります。

もちろん、迷いや不安、失敗もあるでしょう。しかし、自ら選び、挑戦した経験は、すべてが自分の糧となります。失敗を恐れず、自分らしく歩んでください。

「だれかのせいにする」「無理だとあきらめる」のではなく、考え続けることを、やめないでください。

それこそが、これからの時代を生きていくために、最も大切な力です。

また、このような力を育てるためには、学校と家庭の連携が不可欠です。保護者の皆様と学校が手を携え、生徒一人ひとりの成長を支えてまいります。今後とも本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新入生の皆さん。高校生活は一度きりです。「やらされる」のではなく、「自分でやる」という主体性を持ち、充実した三年間を築いてください。

そして、本校の桜のように、その時が来たときには堂々と、自分らしい花を咲かせてください。皆さんの成長を、心から期待しています。

——人のせいにするか、自分で動くか。
その選択が、あなたの生き方を決めます。

結びに、ご来賓並びに保護者の皆様に、本校の教育活動への一層のご支援とご協力をお願い申し上げ、式辞といたします。

令和八年四月八日
群馬県立藤岡工業高等学校
校長 星野 亨